



代謝賦活剤

アデホス-L_{コーワ}注 10mg アデホス-L_{コーワ}注 20mg アデホス-L_{コーワ}注 40mg

**規制区分：処方せん医薬品
注意－医師等の処方せん
により使用すること

*貯 法：冷所保存
使用期限：外箱等に表示

ADETPHOS-L KOWA INJECTION 10mg, 20mg, 40mg
(ATP製剤)

	注10mg	注20mg	注40mg
承認番号	21700AMZ00059	21700AMZ00058	21700AMZ00057
薬価収載	2005年6月	2005年6月	2005年6月
販売開始	1963年1月	1963年1月	1965年11月
再評価結果	1999年6月		

禁忌(次の患者には投与しないこと)

脳出血直後の患者〔脳血管拡張により、再出血するおそれがある。〕

組成・性状

販 売 名	アデホス-L _{コーワ} 注10mg	アデホス-L _{コーワ} 注20mg	アデホス-L _{コーワ} 注40mg
成分・含量 1アンプル (2mL)中	アデノシン三リン酸 二ナトリウム水和物 10mg	アデノシン三リン酸 二ナトリウム水和物 20mg	アデノシン三リン酸 二ナトリウム水和物 40mg
添加物 1アンプル (2mL)中	L-アルギニン10mg、 ベンジルアルコール 20mg	L-アルギニン20mg、 ベンジルアルコール 30mg	L-アルギニン60mg、 ベンジルアルコール 30mg、水酸化Na、 塩酸
色調・剤形	無色澄明 水性注射剤	無色澄明 水性注射剤	無色澄明 水性注射剤
浸透圧比	約0.5	約0.7	約1
pH	8.5～9.5	8.5～9.5	8.5～9.5

効能・効果

- ・下記疾患に伴う諸症状の改善
頭部外傷後遺症
- ・心不全
- ・筋ジストロフィー症及びその類縁疾患
- ・急性灰白髄炎
- ・脳性小児麻痺(弛緩型)
- ・進行性脊髄性筋萎縮症及びその類似疾患
- ・調節性眼精疲労における調節機能の安定化
- ・耳鳴・難聴
- ・消化管機能低下のみられる慢性胃炎
- ・慢性肝疾患における肝機能の改善

用法・用量

1. 静注の場合

アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、通常1回5～40mgを1日1～2回、等張ないし高張ブドウ糖注射液に溶解して、徐々に静脈内注射する。

2. 点滴静注の場合

アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、通常1回40～80mgを1日1回、5%ブドウ糖注射液200～500mLに溶解し、30～60分かけて点滴静脈内注射する。

使用上の注意

1. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジビリダモール	ジビリダモールはATP分解物であるアデノシンの血中濃度を上昇させ、心臓血管に対する作用を増強するとの報告があるので、併用にあたっては患者の状態を十分に観察するなど注意すること。	ジビリダモールのアデノシン取り込み抑制作用により、ATP分解物であるアデノシンの血中濃度が上昇する。

2. 副作用

総症例1860例中副作用が報告されたのは76例(4.1%)であり、頭痛、悪心・嘔吐などであった。また臨床検査値には一定の変動は認められなかった。(第1次再評価時の文献調査による集計)

(1) 重大な副作用

ショック様症状(0.1%未満)があらわれることがあるので胸内苦悶、悪心、顔面潮紅、咳、吃逆、熱感等があらわれた場合には投与を中止すること。

(2) その他の副作用

	頻度不明
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
循環器	一過性の心悸亢進
精神神経系	頭痛

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

5. 適用上の注意

(1) ゆっくり(10mgを1～2分で)静脈内に投与すること。(急速に投与すると、一過性の胸内苦悶、悪心、頭痛、顔面潮紅、咳、吃逆、発熱等があらわれることがある。)

(2) 本品は「一点カットアンプル」を使用しているので、ヤスリを用いず、アンプル枝部のマーク(緑)の反対方向に折り取ること。

6. その他の注意

本剤を急速静注した場合に気管支痙攣を誘発したとの報告がある。

臨床成績

慢性肝炎に対する二重盲検比較試験の結果、本剤の有用性が認められている。¹⁾²⁾

薬効薬理

1. 血管拡張作用により各種臓器組織の血流量を増加する。
脳(イヌ、ネコ)³⁾⁴⁾、心(イヌ)⁵⁾⁶⁾、肝(イヌ)⁷⁾、胃(イヌ)⁸⁾、内耳(モルモット)⁹⁾¹⁰⁾の血流量を増加する。
2. 生体内の代謝活性を増加する。
脳(モルモット、*in vitro*)¹¹⁾¹²⁾、心(イヌ、ウサギ)¹³⁾¹⁴⁾、肝(ラット)¹⁵⁾、内耳(モルモット、*in vitro*)¹⁶⁾¹⁷⁾などの代謝活性を増加する。
3. 筋収縮力を増強する。
心筋および骨格筋の収縮力を増強する(カエル、*in vitro*)¹⁸⁾¹⁹⁾。
4. 神経伝達の効率化をはかる。
神経伝達の効率化をはかる(ウシ蛙、*in vitro*)²⁰⁾。
5. 胃腸管平滑筋の収縮運動を増強する。
胃腸管平滑筋(ラット、健常人)²¹⁾²²⁾の収縮を増強する。

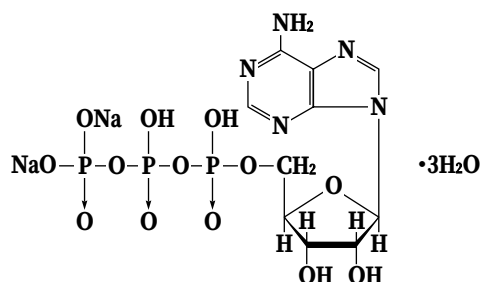
有効成分に関する理化学的知見

一般名：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物

(Adenosine Triphosphate Disodium Hydrate)

化学名：Disodium adenosine-5'-triphosphate(ATP-2Na)

構造式：



分子式：C₁₀H₁₄N₅Na₂O₁₃P₃·3H₂O

分子量：605.19

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、わずかに酸味がある。水に溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

包装

アデホス-リュー注10mg 50アンプル

アデホス-リュー注20mg 50アンプル

アデホス-リュー注40mg 10アンプル, 50アンプル

主要文献

- 1) 原田 尚他：薬理と治療, 5. 2915(1977)
- 2) 原田 尚他：薬理と治療, 7. 1837(1979)
- 3) 松本 皓他：臨床と研究, 50. 1510(1973)
- 4) 寺田秀興他：脳と神経, 28. 151(1976)
- 5) 小金沢清美：日大医学雑誌, 19. 1(1960)
- 6) 大島研三他：呼吸と循環, 7. 115(1959)
- 7) 今井 深：東京慈恵会医科大学雑誌, 88. 1(1973)
- 8) 岡田益雄他：薬理と治療, 6. 3553(1978)
- 9) 吉田萬子他：耳鼻と臨床, 29. 63(1983)
- 10) 秋吉正豊他：Audiology Japan, 21. 660(1978)
- 11) 村松文雄他：精神神経学雑誌, 61. 764(1958)
- 12) 相沢豊三他：内科, 1. 1133(1958)
- 13) 伊藤 友衛：ビタミン, 17. 331(1959)
- 14) 小林宏行他：薬理と治療, 3. 900(1975)
- 15) 水田 實他：日本消化器病学会雑誌, 75. 1340(1978)
- 16) 中野 雄一：耳鼻咽喉科臨床, 54. 860(1961)
- 17) 小出 靖他：耳鼻咽喉科臨床, 57. 149(1964)
- 18) 草場 正：久留米医学会雑誌, 33. 1652(1970)

19) 永井寅男他：ATPの基礎と臨床, 3. 107(1962)

20) 平井恵二他：医学のあゆみ, 122. 635(1982)

21) 中山 修他：薬理と治療, 6. 3559(1978)

22) 山形敬一他：ATPの基礎と臨床, 4. 88(1963)

文献請求先

興和株式会社 医薬事業部 医薬学術部

〒103-8433 東京都中央区日本橋本町3-4-14

製品情報お問い合わせ先

興和株式会社 医薬事業部 くすり相談センター

電話 0120-508-514

03-3279-7587

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)